

平成22年8月25日

男女平等・共同参画課

高岡市男女平等推進センターネットワーク会議における 男女平等推進モデル事業の取り組みについて

1 高岡市男女平等推進センターネットワーク会議について

(設置目的及び基本的な考え方)

- ① 平成22年度より新たに高岡市男女平等推進センターネットワーク会議を設置。
- ② 高岡市男女平等推進センターの運営及び事業に関する基本的事項について調査審議するとともに、市民の参画による普及・啓発事業の実施や市民相互のネットワークの強化を図る。
- ③ 男女平等・共同参画をさらに推進していくためには、行政の取り組みはもとより、市民・市民団体との連携・協力による普及・啓発の取り組みが必要不可欠。
- ④ 同会議と同センターとが連携・協力して普及・啓発のための計画（＝高岡市男女平等推進モデル事業計画）を策定するとともに、市民・市民団体の強み・得意分野、これまでの活動実績等をふまえて、事業を企画実施する。

2 高岡市男女平等推進モデル事業計画について

(1) 計画策定の経過

- ① 6月3日（木）
 - ・ 第1回全体会議開催。平成21年度センター事業実績や男女平等・共同参画に関する現状と課題について報告。質疑・意見交換の後、3つの部会に分かれて事業アイデアについて検討。
- ② 6月21日（月）
 - ・ 事業計画グループ会議開催。事業アイデアをもとに、コアメンバー（アドバイザー・部会長）において、事業計画（案）を検討・作成。
- ③ 7月5日（月）～12日（月）
 - ・ 委員へ事業計画（案）に関する意見募集
- ④ 7月15日（木）
 - ・ 第1回幹事会（書面表決）開催。高岡市男女平等推進モデル事業計画（案）審議。
- ⑤ 7月23日（金）
 - ・ 高岡市男女平等推進モデル事業計画決定。

(2) 計画の概要 … 詳細は資料№4参照

① 基本方針

- ア 「認めあい 支えあい 共に輝く ひと と まち」の実現を目指した取り組み
- イ 近年の市民意識・ニーズや社会情勢に基づく課題に着目した取り組み
- ウ 市民の参画による普及・啓発事業（男女平等推進モデル事業）の実施及び市民相互のネットワークの強化の促進

② 事業に取り組む上での主な視点（重点課題）

- ア 女性の参画・活躍による社会の活性化
- イ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
- ウ 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）の予防啓発・被害者支援

③ 特筆すべき取り組み

- ア 「（仮称）高岡女性人材リスト」の作成・活用（H23）
- イ 「（仮称）粋メンプロジェクトチーム」による男性への意識啓発事業の取り組み

● 出前講座の開催（H22）

地区公民館や企業等、地域に出向き、子育て世代からプラチナ世代（中高年以上）まで幅広い世代の男性を対象に、家事、育児、介護、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）をテーマとした講座の開催（コンセプト：「粋」・「カッコいい」）

● 「（仮称）高岡版ソフリエ ハンドブック」の作成・活用（H23）

- ・ 平成22年6月17日、厚生労働省は、「イクメンプロジェクト」を立ち上げた。
- ・ 「イクメン」とは、「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと」としており、育児をすることが、自分自身だけでなく、家族、会社、社会に対しても良い影響を与えるとしている。
- ・ 同様に、家事に積極的な男性を「カジダン」、お菓子作り職人、パティシエを文字って「パパシエ」、そのおじいちゃん世代を「ソフリエ」、オムツ替えの上手な男性を「オムリエ」と呼ぶなど、育児や家事に積極的な男性を奨励する社会的な動きが見られる。
- ・ 本市においても、同計画策定の議論の中で、そのような男性は、「粋」で「カッコいい」ものであり、好ましい男性モデルとして育成していく必要があるとの意見があったところである。
- ・ このことから、本市において、男性への意識啓発事業を推進するプロジェクトチームを、「（仮称）粋メンプロジェクトチーム」と命名し、祖父のための育児指南書を「（仮称）高岡版ソフリエ」としたものの。

- ウ 「男女平等E X P O高岡実行委員会」によるDV予防啓発・被害者支援の取り組み（H22）

● 若手ミュージシャンなどを対象としたデートDV予防啓発講座

（日時）平成22年10月29日（金）午後7時30分～9時

（場所）男女平等推進センター会議室

● 若手ミュージシャンによるチャリティライブ・企画展示

（日時）平成22年11月7日（日）午後2時～4時

（場所）生涯学習センター4階ホール等

〔以 上〕